平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年12月26日

上場会社名　日本化薬株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4272　URL　http://www.nipponkayaku.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 萬代　晃
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員　グループ経理本部経理部長　(氏名) 下山　政行　TEL 03-3237-5270

四半期報告書提出予定日　平成25年1月11日　配当支払開始予定日　平成25年2月1日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年6月1日～平成24年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	73,274	△0.2	10,751	7.4	11,718	17.5	7,149	31.2
24年5月期第2四半期	73,452	△0.6	10,005	△5.3	9,976	0.5	5,450	13.3

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　7,208百万円　(67.9%)　24年5月期第2四半期　4,293百万円　(△0.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	39.44	39.38
24年5月期第2四半期	30.06	30.02

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	205,623	149,939	68.4
24年5月期	204,674	144,019	66.0

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　140,724百万円　24年5月期　135,114百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	―	10.00	―	10.00	20.00
25年3月期	―	10.00			
25年3月期(予想)			―	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 6月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	131,000	―	16,000	―	17,000	―	10,000	―	55.16

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

当社は、平成24年8月30日開催の定時株主総会の決議により、連結決算日を5月31日から3月31日に変更いたしました。当該変更に伴い、決算期変更の経過期間となる当連結会計年度の期間は、平成24年6月1日から平成25年3月31日までの10ヶ月間となります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(4)追加情報」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	182,503,570 株	24年5月期	182,503,570 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,234,571 株	24年5月期	1,214,825 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	181,280,312 株	24年5月期2Q	181,311,071 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成24年6月28日に公表しました平成25年3月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の実績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(1)　連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・ 2
(2)　連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・ 3
(3)　連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・ 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項・・・・・・・・・・・・・ 3
(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・ 3
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・ 3
(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・ 3
(4)　追加情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要・・・・・・・・・・・・ 4
４．四半期連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
(1)　四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・ 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
(3)　四半期連結キャッシュ・フロー計算書・・・・・・・・・・・・ 9
(4)　継続企業の前提に関する注記・・・・・・・・・・・・・・・・11
(5)　セグメント情報等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
(6)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・11

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1)　連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（平成24年６月１日から平成24年11月30日まで）の世界経済は、北米経済は段階的な金融緩和策実施による消費需要の回復も見られたものの、欧州経済の財政金融問題による低迷に加え、中国および新興国経済にも減速傾向が見られるなど、全体として先行き不透明感が強まりました。

日本経済は、東日本大震災からの復興需要による景気の下支えがあるものの、継続する円高や世界経済の減速に加え、周辺国との関係の緊張等の要因により、不確実な経済環境が続きました。

このような状況の中、当社グループは３ヵ年からなる中期事業計画PhaseⅠに沿って、重点事業への経営資源の最適配分、海外展開の強化に加え、収益体質の強化を目指し、一層のコストダウンの推進等に取り組みました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は、732億７千４百万円と前年同四半期に比べ１億７千７百万円（0.2%）減少しました。

営業利益は、原価率の改善に加え、販売費及び一般管理費の減少により、107億５千１百万円と前年同四半期に比べ７億４千５百万円（7.4%）増加しました。

経常利益は、前年同四半期に比べ営業外損益が改善し、117億１千８百万円と前年同四半期に比べ17億４千１百万円（17.5%）増加しました。

四半期純利益は、71億４千９百万円と前年同四半期に比べ16億９千８百万円（31.2%）増加しました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

【機能化学品事業】

機能性材料事業は、半導体封止材用エポキシ樹脂が前年同四半期を下回りましたが、紫外線硬化型樹脂は前年同四半期を上回りました。機能性材料事業全体では前年同四半期を上回りました。

電子情報材料事業は、インクジェットプリンタ用色素が前年同四半期を上回りましたがフィルム関連製品が前年同四半期を下回りました。ポラテクノグループは前年同四半期を上回りました。電子情報材料事業全体では前年同四半期を下回りました。

触媒事業は、アクリル酸製造用触媒が好調に推移し、前年同四半期を上回りました。

色材事業は、繊維用染料及び紙用染料が低迷し前年同四半期を下回りました。色材事業全体では前年同四半期を下回りました。

この結果、売上高は345億３千１百万円（前年同四半期比0.3%減）、セグメント利益は60億５千１百万円（前年同四半期比3.2%増）となりました。

【医薬事業】

国内向け製剤は薬価改定の影響を受けましたが、抗がん剤の「カルボプラチン点滴静注液NK」、「パクリタキセル注NK」、「動注用アイエーコール」が前年同四半期を上回り、「ビカルタミド錠NK」は前年同四半期並みに推移しました。「オダイン錠」、「フェアストン錠」は前年同四半期を下回りましたが、国内向け製剤全体では前年同四半期を上回りました。

輸出は、抗がん剤のブレオ類、エトポ類が前年同四半期を上回り、輸出全体では前年同四半期を上回りました。

国内向け原薬は、医薬品原料、醗酵品原料が前年同四半期を下回り、国内向け原薬全体で前年同四半期を下回りました。

診断薬は、前年同四半期を上回りました。

この結果、売上高は248億７千９百万円（前年同四半期比0.5%増）、セグメント利益は54億７千万円（前年同四半期比9.9%増）となりました。

【セイフティシステムズ事業】

国内でのエコカー補助金終了による需要減や、中国での日系自動車メーカーの販売不振の影響を一部受けましたが、当四半期は当社製品の北米での需要増により、エアバッグ用インフレータ、シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレータともに前年同四半期を上回りました。

この結果、売上高は99億６千２百万円（前年同四半期比0.9%増）、セグメント利益は14億８千８百万円（前年同四半期比41.7%増）となりました。

【その他】

アグロ事業は、国内・輸出とも前年同四半期を下回り、事業全体でも前年同四半期を下回りました。

不動産事業他は前年同四半期を下回りました。

この結果、売上高は39億１百万円（前年同四半期比6.9%減）、セグメント利益は６億５百万円（前年同四半期比32.6%減）となりました。

(2)　連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

総資産は2,056億２千３百万円となり、前連結会計年度末に比べ９億４千９百万円増加しました。主な減少は受取手形及び売掛金４億２千１百万円、有価証券33億９千７百万円、未収金(流動資産その他に含む)４億８千７百万円、長期貸付金(投資その他資産その他に含む)６億１千４百万円であり、主な増加は現金及び預金21億１千４百万円、棚卸資産20億４千１百万円、投資有価証券13億１千万円であります。

負債は556億８千４百万円となり、前連結会計年度末に比べ49億７千１百万円減少しました。主な減少は支払手形及び買掛金３億５千万円、未払法人税等16億６百万円、長期借入金19億９千１百万円であり、主な増加は未払金(流動負債その他に含む)４億２千９百万円、繰延税金負債（固定負債その他に含む)４億８千９百万円であります。

純資産は1,499億３千９百万円となり、前連結会計年度末に比べ59億２千万円増加しました。主な増加は四半期純利益71億４千９百万円であり、主な減少は配当金の支払18億１千２百万円であります。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、87億８千７百万円の収入（前年同四半期は97億１千１百万円の収入）となりました。これは主に、法人税の支払額が51億９千５百万円、たな卸資産の増加額が17億２千９百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が115億１千７百万円、減価償却費が47億６百万円あったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、72億２千９百万円の支出（前年同四半期は73億１千２百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が47億５千３百万円、有価証券の取得による支出が20億１千２百万円あったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、46億３千９百万円の支出（前年同四半期は65億７千２百万円の支出）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が25億２千８百万円、配当金の支払が18億６百万円あったことによるものです。

以上の結果、当第２四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ33億２千７百万円減少し、345億４千７百万円（前年同四半期は367億３千２百万円）となりました。

(3)　連結業績予想に関する定性的情報

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、円高定着による国内企業への悪影響や欧州の財政金融危機等による世界的な景気の減速懸念があり、依然として先行きが不透明な状況が続くものと思われます。当社グループは事業環境の変化に対応できる強固な収益体質を構築するとともに、環境・省エネルギー関連材料や医薬バイオシミラーの開発の促進など新たな成長市場への展開を加速させ、収益の拡大を図ってまいります。

なお、平成24年６月28日に公表しました平成25年３月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年６月１日以降（一部の国内連結子会社は平成24年４月１日以降）に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4)　追加情報

当社は、連結決算日（当社の事業年度の末日）を５月31日としておりましたが、他社との比較・分析可能な事業計画、決算情報等を提供し投資家をはじめとするステークホルダーに資するとともに、将来のIFRS（国際財務報告基準）への対応を図るために、平成24年８月30日開催の定時株主総会の決議により、連結決算日を３月31日に変更しております。

当該変更に伴い、決算期変更の経過期間となる当連結会計年度の期間は、平成24年６月１日から平成25年３月31日までの10ヶ月間となります。なお、上場会社である㈱ポラテクノを含む一部の連結子会社については、平成24年４月１日から平成25年３月31日までの12ヶ月間を当連結会計年度の連結損益計算書に取り込むことになります。

また、連結決算日変更に伴い当社と当該連結子会社の決算日が統一されますが、当連結会計年度末の平成25年３月31日より連結決算日を統一することとし、当第２四半期連結累計期間においては、連結決算日変更前と同様に４月１日から９月30日の６ヶ月間を四半期連結損益計算書に取り込んでおります。これは、当第２四半期連結累計期間において四半期連結決算日の統一を行う場合には、平成24年４月１日から平成24年11月30日までの８ヶ月間を四半期連結損益計算書に取り込むことになりますが、上場会社である㈱ポラテクノにとっては、同社としては未だ開示していない期間の情報が、先行して開示されることとなるためであります。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

(1)　四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年５月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年11月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,715	21,829
受取手形及び売掛金	46,927	46,506
有価証券	18,273	14,875
商品及び製品	16,835	18,654
仕掛品	2,144	2,022
原材料及び貯蔵品	6,619	6,964
その他	10,919	10,491
貸倒引当金	△36	△34
流動資産合計	121,400	121,311
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	33,072	32,746
機械装置及び運搬具（純額）	16,028	15,378
その他（純額）	12,425	14,571
有形固定資産合計	61,526	62,697
無形固定資産		
のれん	1,622	1,343
その他	2,852	2,573
無形固定資産合計	4,474	3,917
投資その他の資産		
投資有価証券	14,081	15,392
その他	3,073	2,177
貸倒引当金	△89	△24
投資その他の資産合計	17,065	17,545
固定資産合計	83,067	84,159
繰延資産	206	152
資産合計	204,674	205,623

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年５月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年11月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,790	12,439
短期借入金	6,240	5,919
未払法人税等	5,031	3,424
その他	14,847	14,742
流動負債合計	38,909	36,527
固定負債		
長期借入金	6,934	4,942
退職給付引当金	2,036	1,421
負ののれん	338	262
その他	12,436	12,530
固定負債合計	21,745	19,157
負債合計	60,655	55,684
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,932	14,932
資本剰余金	17,265	17,265
利益剰余金	105,765	111,784
自己株式	△822	△838
株主資本合計	137,141	143,144
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20	992
為替換算調整勘定	△2,047	△3,412
その他の包括利益累計額合計	△2,027	△2,420
少数株主持分	8,904	9,215
純資産合計	144,019	149,939
負債純資産合計	204,674	205,623

(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年６月１日 至　平成23年11月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年６月１日 至　平成24年11月30日）
売上高	73,452	73,274
売上原価	42,353	41,695
売上総利益	31,099	31,579
販売費及び一般管理費	21,093	20,828
営業利益	10,005	10,751
営業外収益		
受取利息	41	32
受取配当金	205	431
負ののれん償却額	76	76
持分法による投資利益	100	206
その他	505	605
営業外収益合計	929	1,351
営業外費用		
支払利息	160	108
為替差損	544	26
その他	253	249
営業外費用合計	958	384
経常利益	9,976	11,718
特別利益		
固定資産売却益	8	1
特別利益合計	8	1
特別損失		
固定資産処分損	207	198
投資有価証券評価損	293	5
特別損失合計	500	203
税金等調整前四半期純利益	9,484	11,517
法人税、住民税及び事業税	3,703	3,584
法人税等調整額	△233	177
法人税等合計	3,470	3,761
少数株主損益調整前四半期純利益	6,014	7,755
少数株主利益	563	606
四半期純利益	5,450	7,149

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年６月１日 至　平成23年11月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年６月１日 至　平成24年11月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	6,014	7,755
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△139	972
為替換算調整勘定	△1,580	△1,518
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△1,720	△546
四半期包括利益	4,293	7,208
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,894	6,756
少数株主に係る四半期包括利益	399	452

(3)　四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年６月１日 至　平成23年11月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年６月１日 至　平成24年11月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,484	11,517
減価償却費	4,598	4,706
引当金の増減額（△は減少）	△790	△670
受取利息及び受取配当金	△247	△463
支払利息	160	108
持分法による投資損益（△は益）	△100	△206
有形固定資産売却損益（△は益）	△8	△1
有形固定資産処分損益（△は益）	207	198
投資有価証券評価損益（△は益）	293	5
売上債権の増減額（△は増加）	71	△519
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,791	△1,729
前払費用の増減額（△は増加）	△47	△130
未収入金の増減額（△は増加）	532	565
前渡金の増減額（△は増加）	138	131
仕入債務の増減額（△は減少）	△782	41
未払金の増減額（△は減少）	△280	△372
未払費用の増減額（△は減少）	△241	△29
その他	68	435
小計	11,264	13,585
利息及び配当金の受取額	247	500
利息の支払額	△161	△109
法人税等の支払額	△1,674	△5,195
法人税等の還付額	35	6
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,711	8,787
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△11	△25
定期預金の払戻による収入	36	6
有形固定資産の取得による支出	△4,855	△4,753
有形固定資産の売却による収入	5	5
無形固定資産の取得による支出	△1,551	△91
有価証券の取得による支出	△503	△2,012
長期貸付けによる支出	△2	△0
長期前払費用の取得による支出	△576	△67
固定資産撤去に伴う支出	△204	△338
子会社株式の取得による支出	△19	－
短期貸付金の増減額（△は増加）	71	－
その他	297	47
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,312	△7,229

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年６月１日 至　平成23年11月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年６月１日 至　平成24年11月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△1,149	250
長期借入金の返済による支出	△3,032	△2,528
建設協力金の返済による支出	△473	△374
配当金の支払額	△1,805	△1,806
少数株主への配当金の支払額	△99	△140
その他	△12	△40
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,572	△4,639
現金及び現金同等物に係る換算差額	△398	△443
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△4,572	△3,524
現金及び現金同等物の期首残高	41,304	37,874
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増減額	－	196
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,732	34,547

(4)　継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5)　セグメント情報等

【セグメント情報】

前第２四半期連結累計期間（自　平成23年６月１日　至　平成23年11月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	機能化学品事業	医薬事業	セイフティシステムズ事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	34,627	24,764	9,871	69,263	4,189	73,452	－	73,452
セグメント間の内部売上高又は振替高	8	0	－	8	14	22	△22	－
計	34,635	24,764	9,871	69,272	4,203	73,475	△22	73,452
セグメント利益	5,865	4,976	1,050	11,892	898	12,790	△2,785	10,005

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アグロ事業、不動産事業を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△2,785百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,778百万円、セグメント間取引消去△6百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第２四半期連結累計期間（自　平成24年６月１日　至　平成24年11月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	機能化学品事業	医薬事業	セイフティシステムズ事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	34,531	24,879	9,962	69,373	3,901	73,274	－	73,274
セグメント間の内部売上高又は振替高	69	0	－	69	40	110	△110	－
計	34,601	24,879	9,962	69,443	3,941	73,385	△110	73,274
セグメント利益	6,051	5,470	1,488	13,010	605	13,615	△2,864	10,751

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アグロ事業、不動産事業を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△2,864百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,874百万円、セグメント間取引消去9百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。